

高温に伴う農作物及び家畜の管理対策の徹底について

令和8年7月2日
富山県農業技術課

7月2日に新潟地方気象台より「高温に関する早期天候情報（北陸地方）」が発表されました。北陸地方の気温は、**7月8日頃からかなり高くなる可能性があることから、農作物や家畜への影響が懸念されます。**このため、**熱中症等の健康管理に注意するとともに、次の管理対策の徹底**をお願いします。

1 水稻

- (1) 生育の早期化が見込まれることから、追肥および防除作業の前倒しを検討する。
- (2) 高温による葉色低下が懸念されることから、葉色診断に基づき積極的に追加穂肥を施用する。
- (3) 本田防除は、早生品種では穂揃期と傾穂期、中晩生品種では穂揃期に、適期の薬剤散布を徹底する。

2 大豆

- (1) 落花・落莢を防ぐため、開花期頃から晴天が3日以上続くと見込まれる場合は、降雨に頼らず積極的にうね間かん水を行う。
- (2) ハダニ類の発生を確認したら、早めに防除を行う。

3 園芸作物

【野菜】

- (1) 白ねぎで土寄せを行う場合は、朝夕の涼しい時間帯に行うとともに、土寄せ時に、軟腐病・白絹病の予防粒剤を株元散布する。
- (2) 施設栽培では、昇温抑制対策として、遮光や換気を徹底する。
- (3) ヤガ類やヨトウムシ類、アザミウマ類、ハダニ類の発生に注意し、発生がみられた場合は早めに防除を行う。
- (4) 収穫は早朝等の涼しい時間帯に行い、収穫後は直射日光が当たらない作業場等で、速やかに調製する。また、高温下では鮮度劣化が早まるため、予冷库等を活用し品温を下げるとともに、1日で調製できる分だけを収穫する。

【果樹】

- (1) もも等は、品温が高くならないように涼しい時間帯に収穫し、収穫物は直射日光に当てない。
- (2) ハダニ類やカメムシ類の発生がみられた場合は、速やかに防除を行う。
- (3) 太枝には直上の新梢を多めに残す、又は白塗剤を塗布するなど、樹体の日焼け防止に努める。

【花き】

- (1) 球根類では、貯蔵庫内が高温となり過ぎないように風通しをよくするとともに、腐

敗球根等の除去を徹底する。

- (2) 旧盆用の小ギク等では、収穫後の葉のしおれを防ぐため、切り花の収穫は朝夕の涼しい時間帯に行い、前処理剤を用いて十分に水揚げし、鮮度保持に努める。
- (3) 施設栽培では、遮光や換気による昇温抑制対策を徹底する。
- (4) ヤガ類やヨトウムシ類、アザミウマ類、ハダニ類の発生に注意し、発生がみられた場合は速やかに防除を行う。

4 家畜

- (1) 飼養密度の緩和、送風機による畜体等への送風、細霧装置による気化冷却などにより、家畜の体感温度の低下に努める。
- (2) 換気扇による換気、寒冷紗やよしずによる日除け、屋根への散水や消石灰の塗布などにより、畜舎環境の改善に努める。
- (3) 給水器を清潔に保ち、新鮮な水（冷水）を十分に給与する。
- (4) 高温により飼料が変質・腐敗していないか確認し、良質な飼料の給与や涼しい時間帯の給餌、ビタミンやミネラルの補給に努める。
- (5) 家畜をよく観察し、異常畜の早期発見・早期治療に努める。

5 熱中症対策

- (1) 日中の暑い時間帯は外での農作業を控えましょう。ただし、日中に農作業を行う際は、熱を逃がしやすい衣服を着用するとともに、作業はできるだけ複数で行い、こまめに水分補給するなど、熱中症等に十分に留意しましょう。
- (2) 従業員を1人でも雇用している事業者は、熱中症の重篤化を防止するための対策として、早期発見の体制整備や実施手順書を作成しましょう。

【事務担当】

農業技術課	研究普及・スマート農業振興係	076 (444) 3277
	広域普及指導センター	076 (429) 5042